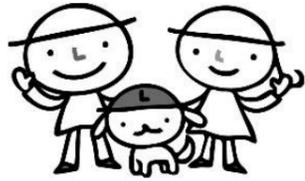


いとるらいふ通信

(社福) みんなでいきる
障害福祉サポートセンター
いとるらいふ
発行日:2024年1月

2024年、辰年を迎えましたね 🌱 ✨
皆様、どのような年末年始を過ごされたでしょうか？
今年も皆様の笑顔溢れる年となりますよう、心からお祈り申し上げます ♡
さて！今年初のいとるらいふ通信では、各事業所の目標をお届けします！ 📄 2024年も、いとるらいふ通信をよろしくお願いいたします😊♪



今月はクリスマスを感じる製作が盛り沢山です！
皆さんはどのようなクリスマスを過ごされましたか？ 🎄

各事業所の活動報告

ぴあん 12月は感謝月間と称し、デザートにアイスを提供しました 🍦 「どのアイスにしよう…」と悩まれる方や「冷たい！」と眉間に皺を寄せる方、笑顔で召し上がる方など様々な表情が見られました 😊



にこ にこの大切な仲間の山口職員が先月退職致しました。子どもに真正面から向き合ってくれた山口さんがいないのは寂しいですね。みんなにたくさんの思い出をありがとう！また会いに来てね！



ららん もうすぐクリスマス！クリスマスにちなんでクリスマスリースを制作しました。ポンドをつけて…お星さまをつけようかな？やっぱり長靴をくっつけようっと (*^▽^*) どう？よくできたでしょ？ (#^_^#) 丸い輪には永遠という意味が込められているそうです。メリークリスマス!(^_^)!



もーと もーとでは『ステンドグラス風リース』作りをしました 🌟 一人一人サンタの帽子を被って撮った写真を貼り、周りにはシールや花紙などを自分たちで選び、好きなように飾りつけをしました！完成したものを飾り、お友達や職員で「かわいい〜」「いい顔してるね！」と話し、クリスマスを楽しみました♪



とも ともではクリスマスに向けてスノードーム作りを行いました。サンタクロース、トナカイ、ツリーの中から好みの飾りを瓶の中へ……。ご利用者様同士で確認しながら制作する様子も見られました♪可愛いリボンとキラキラの雪でクリスマスにぴったり！スノードームの完成です！



きら きらではクリスマスツリーの壁面作品や画用紙や折り紙でオーナメントを作成しました！飾りを自分の好きなように貼ったり、色鉛筆で色やサンタさんたちの顔を書いて自分だけのオリジナルオーナメントが完成!! 素敵な壁面のクリスマスツリーもみんなで協力して完成しました 😊





2024年の 目標

『2024年はこんな年にしたい or こんなことをしたい』という内容で、各事業所の2024年の目標を紹介します!!

とも

『皆様が笑顔で楽しい日々を過ごせる1年にしたい。』



きら

『朗らか、穏やか、健やかに過ごせる1年にしていきたい。』



らん

『イベントを実施し、元気に笑顔いっぱい1年にしたい!』



もーと

『毎日ワクワク笑顔で過ごし、地域と繋がり愛されるもーと』



にこ

『今年もみんなニッコニコの笑顔で楽しく過ごそう!』



リレーエッセイ

今年度は、職員についてより知って頂きたいという思いから、リレーエッセイだけでなく、その職員の好きな物・事柄がわかる【私を構成する3つの要素】を紹介します!!



りとりらいふ 統括施設長
かたぎり 片桐 きみひこ 公彦

○iPhone…これがないと生きていけません。ありがとう、スティーブ・ジョブズ。
○リュック…しょっちゅう変えてます。最近「これだあ!」という一品に出会いました。
○スキー…実は準指導員です。熱心なスキーヤーでした。板も車もやはり国産だけ。

「私の得意なこと」

私の得意なことは「マルチタスク」です。同時進行で、色んな仕事しています。原稿を書きつつ、研修資料を作成し、ネットで調べ物をして、電話して、メール書いてというのを10分くらいの間隔で切り替えて、同時にこなします。

これは「得意なこと」というよりも、元来の落ち着きのなさ、一つのことに集中できない「不注意さ」かもしれません。小学校の通知表では担任の先生に必ず「落ち着きがない」という記載をされ、めっぼう親に怒られました。

大人になってもその悲劇的傾向は改善どころか、ますます強化され、現在に至ります。この文章を書いている間もメールを返信し、業務連絡をLINE WORKSで送り、思いついたグラフをスライドに差し込みました。

我ながら凄まじい「多動性」です。うーん、これは果たして得意なことなのでしょうか。いつか破綻しそう。

にこ
ながとう 長藤 まさひこ 正彦



○愛犬…黒いポメラニアンが2頭います。休日はいつも一緒。
○外遊び…キャンプにカヤックに SUP に スノボに etc...勿論愛犬も一緒。
○実はちょっとグローバル…南極以外の大陸は踏みました。

「お正月の思い出」

「私が怠惰なのではない、布団が勤勉なのだ。」

そんな寝坊の言い訳が通用する季節ですね。こんにちは、にこの長藤です。

自分の印象深い正月は25年前、船旅の途中の地中海で年を越したことです。船員は皆ウクライナ人。彼らの言語はロシア語。簡単な英語すら通じません。それでも新年を迎えた瞬間には一緒に祝い、騒ぎ、笑い合っていました。言葉の壁なんて大したモンじゃないなと感じました。勢いで飲んだウォッカの破壊力は大したモンでした。

「オゲンキデスカ」と毎朝笑顔で挨拶してくれる客室担当のヘレンや、「モリモ〜リ〜」と歌ってパスタをゴン盛りしてくるウェイトーのセルゲイなど気さくな船員の面々。彼らは今元気…というか無事だろうか。

母国に大きな困難が訪れもうすぐ2年、安否も知り得ぬ友人達への救いを祈る今日この頃です。